魔王の始め方

2

【小説】笑うヤカン
【イラスト】新堂アラタ

戦士
ウォルフ
ウォルフ
戦士
サイトリード
サイトリード
ヒーラー
セレス
セレス
魔法使い
ファロ
ファロ
戦士
ノーム
ノーム

CHARACTERS

ローガン
【レッサーデーモン】

強大な戦闘能力を持つ悪魔。でもロリコン。

スピナ
【魔女】

トウルの弟子となった魔術師見習い。

オウル【魔王】

老いた魔術師。魔術によって二十歳前後まで若返ってる。

ミオ【魔物使い】

普通の村娘であった が オウルの配下となり 優秀な魔物使いに。

マリー【幼女】

無気な少女。何故かレッサーデーモンのローガンに気に入られる。

リル
【サキュバス】

女性型の淫魔。オウルに最初に召喚された悪魔。

ナジャ
【剣士】

水属性の髪を持つ剣士 男勝りの剣術を操る

エレン
【黒アールヴ】

森の戦士 アールヴの長。

ウィキア
【魔術師】

冷静沈着な魔術師。キツそうな印象の美少女。

シャル
【精霊】

白アールヴの管理。親切で人好し。

ユニス【英雄】

「英雄の星」のもとに生まれた少女。剣の腕は一流以上で魔術もバランスよく使いこなす

CONTENTS

HOW TO BOOK ON THE DEVIL

Ⅱ

プロローグ …… 6

Step. 8 王に連なるものを陵辱しましょう …… 13

Step. 9 魔窟の住人と触れ合いましょう …… 44

Step. 10 魔王の迷宮を攻略しましょう …… 74

[書き下ろし] 閑話 愛人達に褒美を与えましょう …… 130

Step. 11 英雄を無残に殺しましょう …… 159

Step. 12 阿鼻叫喚の地獄絵図を描きましょう …… 224

Step. 13 愚かなる者を制裁しましょう …… 254

[書き下ろし] エピローグ …… 289

[書き下ろし] Ex Step 最も古き竜の洞窟を攻略しましょう …… 304

あとがき …… 328

魔王の始め方

DUNGEON INFORMATION
ダンジョン解説

【階層数】
4階層

■瘴気：20
■悪名：40
■貯蓄魔力：33（単位：万/日）
■消費魔力：15（単位：万/日）

new dungeons 新しい施設 installations

【フィグリア国】
小国ながら、一国がほぼまるごとオウルの物となった。
とはいえ直轄地はそれほど多くなく、その大半は元の貴族に任せるという方法で
反乱を最小限に防いでいる。

【元王妃の部屋】
迷宮内に作られた、元王妃オリヴィアの部屋。同じく、パトリシア、プリシラの部屋もある。
オウルは当初彼女たちは地上の王城にそのまま住まわせておくつもりだったが、
本人達の強い要望と粘り強い交渉の末に押し切られた。

new dungeons 新しい戦力 potential

飛竜
▸蓄力 6

ワイヴァーンとも呼ばれる　二本足に一対の翼を持つ前足を持たない下級の竜。ブレスを吐かない代わりに尻尾に毒を持ち　下級とはいえ竜の名に恥じない戦闘能力を持つ。知能はそれほど高くなく、賢い犬程度。

魔喰いスライム
▸戦力 1〜

スピナが開発した　蓄力を食う性質を持つスライム。城を落とすのに使われた。動きは鈍く攻撃能力と呼べるものは持たないが　魔力を食べて無制限に大きくなるという特徴を持つ。その性質上　魔術は全て吸収されてしまい　物理的な攻撃もほとんど効果がない。水をかけると溶けてしまうという弱点を持つ。

フィグリア王家
▸蓄力 0
▸最大貯蓄魔力 0.5

元王妃のオリヴィアと、その娘のパトリシアとプリシラ。特に何も出来ないお飾りではあるが　過去の王家の権威を一部取り戻す事は出来る。

current 現状のダンジョン situation

国一つを乗っ取ったことから国外にもその名が広く知られる事となり、
悪名は一気に上昇した。とはいえ、まだそこまで危険視している国は多くない。
討伐命令を出していた国が事実上なくなったことで、冒険者達の流入は若干緩やかになった。

DUNGEON INFORMATION
ダンジョン解説

【階層数】
5階層

- 瘴気　40
- 悪名　45
- 貯蓄魔力　36（単位：万/日）
- 消費魔力　20（単位：万/日）

new dungeons 新しい施設 installations

【ダンジョンコアLV4】
1フロア大の大きさにまで成長したダンジョンコア。およそ5,000万ほどの魔力を貯蓄できる。また、攻撃を受け破壊の危険性が高まると、自動的に内部の魔力を使用し縮小しながら再生する。

【街（オウルタウン）】
いつの間にか入り口に勝手に作られた街。店が並び立ち、サポートが充実する事によって冒険者が常駐。今まで散発的に迷宮を訪れるだけだった冒険者達が、毎日迷宮に赴くようになった。また、街で生まれる利益の一部は、ノームを通じてオウルの賞金となっている。

new dungeons 新しい戦力 personnel

ノーム（商人）
- 戦力　5
- 最大貯蓄魔力　1.5

ロリ巨乳の商人。武器も鎧兜も使えないが、呪具を使う事によって最低限の戦闘能力は持つ。ただし敵を倒す度に金銭的な敵害がかなり発生する。跳の代からの奴隷の出目で、処女のまま気を開発されるという目に遭っていたが全てを鑑定するギフト「真実の瞳」で金を稼ぎ自分自身を買い敵る事によってその立場を脱却した。

キース
- 戦力　8

オウルタウンで家内業をしている胡散臭い商人。ひたすらに胡散臭いもの の、基本的には良心的で真面目に仕事をしている。冒険者の街にいるものの滅多にダンジョンには潜らず、かといって定敵にも就いていない珍しい存在。「腕のいいシーフを紹介してくれ」と言われて自分を勧めたのは冗談ではなく、頭一つ抜き言っていいほどの能力を持っているが　男だという理由でオウルには邸下されてしまった。

current 現状のダンジョン situation

いつの間にか迷宮の入り口に街が出来、冒険者達が集まっていた。この冒険者達は魔王を倒そうという気概のある者はほとんどおらず、その大半が迷宮内で取れる魔物の死骸を使って金儲けに勤しむなるず者である。豊富な魔力を含んだ魔物の死骸は様々な道具や薬の材料として最適で、加工品は行商を通じて他の街や外国に高値で売られている。

new dungeon 新しい魔力 monster

ファロ

▸戦力 6
▸最大管理魔力 1

一見の頭を持つコウモリの連絡。個体を負面魔力は高くないものの平生の移動さと観察力で高への斜面はキースを上回る。魔術力は高いものの、そこから何かを推測する能力はそうでもないのが玉に瑕。

『先生』

▸戦力 3〜8

かつてゲオルグと呼ばれていた亡霊。非常の一度し住み着き、そこ元を持ち入れると良い振かってくる。しかし、管理で出来ん場は切りつけられると多少体力を奪われるものの傷みもなくそう簡単に同会値にはならない。傷の無い体いいので、冒険者達の格好の訓練相手になっており「先生」と呼ばれるようになっている。魔術者相手には手加減しているが、実はかなり強い。

ダンジョンワーム

▸戦力 4

巨大な5Mのような生き物。魔力を生食とし、魔力を多分に含むダンジョン内の土を食べて生活地し、ダンジョンの形を変えてしまう厄介な魔物。更に、魔術師が強らにとって御敵主に見えるらしく、呪術師や法、天井から飛び出して魔術師を喰い、また魔の中に潜入歩っていたりする為、魔術師の本当を追跡や警戒で探るて守るという役割が多かいなっている。

ゼラチナス・キューブ

▸戦力 5

何でも取み込む四角いスライム。ほとんど魔色透明である為、冒険者のキー等に触るっていると気付かずに体の中に入り込んでしまう事もある。魔術者が出てきれば戦っていなければ倒すしにくい、全部魔の武器や魔などが中をかきまっている場もあり、冒険者が下手に戦いになる。炎で溶かすしか対抗方法はないが、すぐに落口が現れてしまうので効果に関する事はかなり困難。

リザードマン

▸戦力 5

倒立したカタツムリような、2mほどの大きさのヒューマノイド。その見た目に反して冒険は人間同様に強く、また基本的には道具で身体を強化する。負傷が進しみる空洞も可能。種族的には全身が魔負を固土でおり、魔や魔、氷で武装している。

ハッグ

▸戦力 4

老婆のような姿をした妖魔。一見人間に似ており、食糧も通じるものの空洞によって皆り開けられる事はほとんどない。人間の声が特に好物で、食糧よりも人間を襲い、喰いをやけて殺けかくしたところで到んで食べてしまうのを好む。反面、食正面からの戦闘能力は高く低くく、その姿形のような姿にしては俊敏な動作を見せるものの、その高い力の頭を持つ冒険者であれば恐るるに足らない。

ケンタウロス

▸戦力 5

上半身は人、下半身から異という特徴。知能は人並みかしかり頭も良いもの非常に狡猾で聞はすこしんしゃ、文法は冒険。特にパーティ内に女性が含まれている場は良りず執拗も選ぶか、傷けたたが良い。彼らは粗暴そうな容貌を持て好られる為実の食ま（でありり）実な許せばかりの高度術で強盗される事しある。また、一人ひとりがプライドの生手である）

DUNGEON INFORMATION
ダンジョン解説

【初期数】
5階層

■瘴気 55
■悪名 58
■拾落魔力 40（単位：万/日）
■消費魔力 23（単位：万/日）

new dungeon 新しい施設 machine

【第2回直通口】
第2回第へ回回の回火、魔術など属性の魔物を呼び寄せる。冒険者の侵入は基本的に不可能なので、この穴によって防衛魔力が低減する事はない。

【第回の扇】
魔力の吹き回まりに自然発生する扇。冒険者の加け止めることもあるものの、回ついた魔物達を回したり、この扇で己の力を過信し回りすぎた冒険者が命を落としたりする為、防衛能力はむしろ増大する。

【不思議な迷宮】
ダンジョンリーチやコボルトなどによって、開る間は形を変える迷回。正確な転移を防ぎ、侵入者を惑わせる。

【扇LV1】
コボルトやゴブリン属が作った原始的な扇。とはいえ、暗く見通しが利きにくい洞窟内では回属するのは比較的冒険者で、経験の浅い侵入者や扇より回亡時などには この回が回命盤になることもある。

【扇LV2】
ドヴェルグが属製し、オウルが仕掛けた本格的な扇。どれも回命属となりうる魔力を備えている上に、扇見は熟練の属賊でも難しい。

【扇4の扇】
第3階層回最にある広回。魔王のフリをしているローガンが相手をし、回を回すと帰還の為の転移回法陣が発生する。しかしこの魔法陣は罠であり、正回に転移すると上空高く転回され、しばしの空の旅を味わう事が出来る。

【扇作試】
第4、第5階層に作られた、オウルとその愛人、扇力者などが住んでいる区画。研究によって瘴気は取り払われ、秩序と回益さに溢れている。

【回扇・改二】
地下水脈から引き込んだ水を回扇で回回することによって、滝や西瓶を予回している。利用者が多くなってきたので、感染病予回の回味もある。通気の回術を応用して天井に空の映像を浮かべており偽天風呂のような贅沢になっているが、扇の日は扇り注ぐ雨粒が天井の断面で消える独にならのでちょっとシュール。魔雪の発生する高度より高い場所を映そうか、しまし遠見は扇属に比較して使用する魔力量が増えるのでそんな事のために膨大な魔力を扇属させるべきか、というのが属元のオウルの悩み事である。

new dungeons 新しい戦力 potential

ハルピュイア
▸戦力：3

愛らしい少女の顔、身体と、鳥の翼　足を持つ魔獣。人の言をしてはいるものの知能は低く、会話はあまり成り立たない。非常に貪欲で、食料の入った荷物を放置しているとすぐさま盗みに来る。顔面能力はそれほど高くないのだが、まずあまり積極的に襲い掛かってはこず、攻撃の届かない場外から投石などで攻撃してくる為に魔獣は困難。顔でも投げてそれに群がっているうちにさっさと逃げる方が良い。

ケイブジャイアント
▸戦力：5

洞窟にすむ巨人。身の丈３.５mほどの体格に、粗末なぼろ布と棍棒で武装している。見た目通り知能はさほど高くないが、その巨体から繰り出される一撃とタフネスは圧巻。性格も粗暴極まりなく、よほど満腹な時以外は襲い掛かってくるので魔神系統の魔術で対処するか、狭い空地に逃げ込むと良い。

マーメイド
▸戦力：4

美しい女性の上半身と　魚の下半身を持つ精霊の一種。迷宮の中では珍しい部類の通じる部類であり、基本的にこちらから攻撃しない限りは襲われることはない。が、その身体は全身高濃度の魔力の塊であり、非常に高価である為。襲い掛かる冒険者は後を絶たず。自分や仲間が襲われた経験を持つ個体が先制攻撃を仕掛けてくる事もあるので注意。

ミオ（魔物使いLV20）
▸戦力　0　▸最大貯蔵魔力：0.1

大量の魔獣の面倒を見るようになった結果、あらゆる魔獣を己の手足のように操ることが可能になったミオ。遂に高3階層でエンカウントするレアキャラ的存在。本人に戦闘能力はないものの、個々の魔獣の戦力を+1程度引き上げる。常に複数の魔獣を引き連れ自在に操る為。集団での戦力は8~9相当。

current 現状のダンジョン situation

冒険者の大量流入によって瘴気が一気に強化され、死んだ人間の亡霊が何もしなくても
自然と悪霊へと変化し、死体が勝手に動き出すほどの濃さへと変化した。
また、迷宮内での生態系もすっかり出来上がり、
死体→ネズミや虫→ゴブリン→その他妖魔、巨人など→社会性を持つ亜人種、のように
ピラミッドが出来ている。この時点で防衛設備はほぼ完成し、
オウルの迷宮の防衛は磐石なものとなった。
突破には並みの英雄クラスでも複数人が必要なほど。悪名はかなり広まり、
ちょっと噂に敏感な人間ならその名を知っている程度。
歌にする吟遊詩人もぽつぽつと現れ始めた。

How to book on the Devil

DUNGEON INFORMATION

ダンジョン解説

【階層数】

5階層

■瘴気　60
■聖名　80
■貯蓄魔力　42（単位：万/日）
■消費魔力　26（単位：万/日）

new dungeons 新しい施設 installations

【訓練室】迷宮に住む魔物達の中で、オウルに協力的な者達を鍛えあげる為の部屋。巨人やケンタウロスといった者達も含まれるため、縦にも横にも非常に広い。個々の技術を鍛えるだけでなく、隊列を整えるなどの軍事訓練も行われる。

【転移室】大量の軍を送り込むための魔術儀式を執り行う部屋。数千規模の魔物を送り込めるように、転移魔術の際の魔力消費を極力抑えるよう、床、壁、天井の全てを使って立体的な魔法陣が形作られている。その都合上、部屋は完全な球状になっている。

【霊廟】死体を安置しておく為の部屋。魔術によって気温が極力下げられ、死体が腐敗・劣化しないよう擬似的な魂を入れて維持されている。蘇生魔法は死後時間が経てば経つほど成功する可能性が下がるが、この霊廟に入れておけばその時間を止める事が出来る。

new dungeons 新しい戦力 potential

ローガンinザイトリード

▸戦力　12
▸消費魔力　2

下底悪魔ローカンが底の美底ザイトリートの死体に取り憑いた姿。全ての魔術を無効化する「鉛の呪い」は消えているものの、その膂力は健在。美底ザイトリート自体には一歩及ばぬものの、並みの美底なら一瞬でできるほどの高い吸魂能力を誇り　底持に必要な魔力は減った。

メトゥス

▸戦力　17

正確には底下ではなく　利用しただけの形だが特別に記載。圧倒的な力を誇る底古にして最底の竜。単独の戦闘能力としては間違いなく世界最底。吐く息と血に著しく強力な量が混じっている事は勿論には特筆すべき能力はないが純粋にその巨体、底の底度　力の底さ、爪の鋭さ。すべてが驚嘆。ウォルフは戦力集算で15程度の能力だが、命を賭して挑む事により何とか相打ちに持ち込んだ。

current 現状のダンジョン situation

瘴気はいよいよ濃くなり、訓練を積んだ人間でなければ低階層では動く事も出来ず悪魔や悪霊は何の負担もなく出歩けるほどに。死体は迷宮内どころか迷宮入り口付近でも、しかるべき処置をしなければアンデッドとして歩き回るレベル。悪名は轟き、オウルほど田舎でない限りは魔王の名を聞いて震えぬ者はいない。吟遊詩人はこぞってその邪悪を歌い、特にウォルフ王の最期は長く人気の叙事詩の一つとなる。

HOW TO BOOK ON THE DEVIL

DUNGEON INFORMATION

ダンジョン解説

【階層数】
5階層

■瘴気：80
■悪名：85
■貯蓄魔力：45（単位：万/日）
■消費魔力：30（単位：万/日）

new dungeons 新しい施設 installations

【牢獄】
大勢の虜囚を閉じ込めておく為の牢獄。
独房に比べ一致団結して逃げ出しやすくなっている為、特別に強固に出来ている。

new dungeons 新しい戦力 potential

セレス（白アールヴ）
▶戦力：8　▶最大貯蔵魔力：7

森の妖精アールヴのうち、森の恵みや安らぎなど明るい面を司る白アールヴの姫君。黒アールヴの長エレンに匹敵するほどの弓と魔術の腕を持ち、そのほっそりとした外見からは想像もつかないほどの強さを誇る。また、魔力貯蔵量は黒アールヴを上回る。

白アールヴと森の民
▶戦力：6　▶最大貯蓄魔力：2

セレスの配下とその盟友の森の民達。いずれ劣らぬ弓の名手で、アールヴはそれに加え魔術も使うことが出来る。エレン配下の黒アールヴに比べれば一歩、エレンやセレスに比べると二歩ほど劣る実力だが　その分数によって圧倒する。

サキュバス
▶戦力：2　▶消費魔力：0.1　▶最大貯蔵魔力：10

女性型の淫魔。基本的にはリルと同程度の能力を持つ。

レッサーデーモン
▶戦力：3　▶消費魔力：3

追加で呼ばれたレッサーデーモン達。ザイトリードに入っていないローガンと同じ程度の実力を持つが、その外見　能力は様々。ショタコン、スカトロジスト、ズーフィリアなど性癖も様々。

current 現状のダンジョン situation

ユニスとスピナが姿を消し、どこか空虚になってしまった感のあるダンジョン。
二人の部屋はそのままにされており、時折こっそりとリルはそこを掃除している。
ただし、自分の部屋はあまり掃除出来ておらず雑然としたままである。

How to book on the Devil

GRANDELA KINGDOM

グランディエラ王国解説

■面積：約13億エーカー
■人口：約7200万人

kingdom 戦力 potential

ウォルフ ▸戦力 15

「英雄王」「雄子王」「傭兵王」などと多数の異名を持つ英雄の中の英雄。歴代の英雄の中でも最強の力を持つ男であり、その戦闘能力は人類最強と呼んで差し支えない。剣だけで国を手に入れ、拡大し、その子もまた英雄となるほどの稀代の大英雄である。

ザイトリード ▸戦力 12

「鉛の英雄」とだけ呼ばれる、英雄王ウォルフの息子。あまり名は知られていないがその強さは間違いなく、単純な力の強さだけであれば父ウォルフさえ上回る豪腕の持ち主。幼い頃、妹の命と引き換えに亡くなった母を助けられなかった魔術を下らないものと切り捨て、頼ることをやめたことからあらゆる魔術を無効化する能力を持つ。

トスカン ▸戦力 5

グランディエラ王国を支える名宰相。ウォルフの右腕であり、彼の衰亡き今雄大の理解者でもある。元はウォルフの乳兄弟であり、家雄同然に育ってきた。無謀な冒険を繰り広げる若き日のウォルフについていっては、彼の起こす騒動のフォローに回ってきた。曰く、「世界一尻拭いの上手い魔術師」である。老いて衰えたとはいえ、自分の身を守る程度の強さはある。

grandela グランディエラ王国 kingdom

グランディエラ王国は元は「南部」と呼ばれる地方の、小国の一つであった。
その国の姫君、ユードラを攫った巨人を打ち倒し、
彼女と結ばれて王に即位したのが後の英雄王、ウォルフディールである。
彼は互いに争いあい千々に乱れた国々を次々におさめ、南部を統一する事に成功した。
現在は大陸最大の国、宗教国家ラファニスと同等と目されるほどの大国に育ってきており、
往時ほどの勢いはないとはいえ未だにその勢力を拡大し続けている。
王族の赤髪に緑眼、褐色の肌は典型的な南部人の特徴であり、
国民の八割ほどは同じような色をしている。
一般的に陽気で朗らかだが気が短く、武を尊ぶ国民性である。